

戦後80年 「語り継ぐ平和への思い」開催レポート



問 総務課 総務統計係 ☎ 69-2120 ☎ 63-4086

8月24日、あいこうか市民ホールで「戦後80年～語り継ぐ平和への思い」を開催しました。
第1部では、広島平和記念事業に参加した市内小学生3名による作文発表、第2部では、広島市からお招きした被爆体験伝承者の今石克久^{いまいしかつひさ}さんの講話会を行いました。
今石さんには、19歳の時に被爆された方の体験を中心に、原爆や放射能の恐ろしさ、平和への思いなどをお話しいただきました。80人以上の幅広い年齢層の方々が参加され、真剣に耳を傾けていました。

【参加された方々の声】 (アンケートから一部抜粋)

- 自分も戦争を知らない世代。今の生活がどれ程幸せな事なのかと改めて感じた。孫世代の小学生がその事に気付き、伝えていきたいという気持ちを持ったように自分達大人も感謝の気持ちをもって生活していこうと感じる良い機会となった。
- 被爆者が減るなか、必ず語り継いでいかなければいけない。
- 子どもたちの素直な気持ち(白紙の生地)に写った、原爆の怖さの思いが伝わってきて良かった。
- 80年経った今も、被爆された方やその子孫の方々の想いを受け取り、原子爆弾の非人道性や戦争の理不尽さを伝えることの大切さを改めて感じた。



広島平和記念事業に参加した児童による作文発表の様子



伝承者の今石さんによる講話会の様子

折り鶴に平和への願いを込めて 広島平和記念事業に市内小学6年生15人が参加



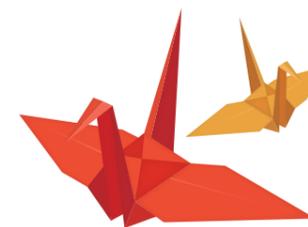
問 総務課 総務統計係 ☎ 69-2120 ☎ 63-4086

8月5日、6日の2日間、市内小学6年生15人が広島平和記念事業に参加し、原子爆弾の恐ろしさや平和の尊さを学びました。ここでは参加児童が平和への願いを込めた作文(抜粋)を紹介します。

この世から戦争や核兵器をなくすためには、戦争の残酷さや悲惨さを多くの人たちが知り、平和の大切さや尊さを世界中の人たちに知ってもらふ必要があると感じました。私たちの役割は、戦争や核兵器の悲劇を風化させず、多くの人たちに知ってもらえるようにすること、次の世代に語り継いでいくことだと思います。
(貴生川小学校 藤原さん)

現在は、被爆者の方が減ってきて、平均年齢が86歳と高齢になっています。そして、原爆の怖さを知らない人が多くなっています。実際に被爆者の方の話の聞いたり、現地での映像や遺品などを見たりして、実感することがより大切だと感じました。
(甲南第一小学校 小西さん)

自分が暮らす今の時代がどれだけ恵まれているかを感じました。毎日何気なく聞こえる虫の声、お腹いっぱい食べられるご飯、ぐっすり眠れる夜、家族や友だちと大きな声で笑い合ったりできる、そんな当たり前の毎日。それが一番平和だとぼくは思います。
(甲南第二小学校 山口さん)



救急の電話相談は #7119へ



問 滋賀県防災危機管理局 消防保安係
☎ 077-528-3433

県HP



急な病気やケガで救急車を呼ぶべきか、病院に行くべきか迷った時に、看護師などの専門家に相談ができる電話相談窓口「#7119」が10月1日から始まりました。もしもの時にご利用ください。

利用時間 24時間365日

料金 無料(通話料金は利用者負担)

利用方法 ● 固定電話・携帯電話… #7119へ
● IP電話・ダイヤル回線… 077-528-1317へ



あなたも市の施設に愛称を付けませんか? ネーミングライツ制度を始めました

問 マネジメント推進室 市ホームページ
☎ 69-2119
☎ 63-4561

市ホームページ



市では、民間事業者からの提案により市の施設等に愛称をつけることができる制度「ネーミングライツ」を導入しました。

- 愛称の条件…市民に親しまれ、かつ、施設の設置目的にふさわしいもの

基本的な考え方や募集・選定方法等詳しくは、市ホームページをご確認ください。

